

研究ノート・資料の書式見本（明朝体 18 ポイント）

～執筆にあたって～（副題がある場合：明朝体 14 ポイント）

日本計画大学 行政 太郎（所属：明朝-11/氏名：明朝-12）

Taro Gyosei (Century -9)

はじめに

大見出し（上の「はじめに」）は、ゴシック体の太字 12 ポイントでお書きください。

また、この本文は、明朝体/Century10.5 ポイントでお書きください。

研究論文全体の体裁は次の通りです。

- ・全体の設定：タイトル・アブストラクト部分=46文字×46行×1段組
- ・本文以下=23文字×46行×2段組

1. 大見出し

1.1 小見出しについて

小見出し（上の「小見出しについて」）はゴシック体の太字 10.5 ポイントでお書きください。

1.2 図表の表記について

図表の表記など、執筆にあたっての詳細については、学会ホームページに掲載の執筆要領に示されております。そちらを十分にご確認ください。

執筆要領に基づかないで提出された原稿については、発刊が大幅に遅れる可能性がございます。原則として、この書式を用いて（もしくはこの書式に準じて）原稿をご執筆下さい。

2. 注意事項について

2.1 原稿の超過料について

原稿が 6 ページを超過する場合（図表・注釈・参考文献を含み）に超過料が必要となります。

多少の修正であれば、校正段階で調節可能ですが、あらかじめご注意のうえ、ご執筆ください。

（以下省略）

——注——

注1) 注釈は明朝体/Century9 ポイントでお書きください。

注2) *****

——参考文献——

1) 鈴木次郎（1986a）「計画と行政」、『計画と行政』17、34～43.

2) 参考文献も注釈と同様、明朝体/Century9 ポイントでお書きください。

3) *****
